

～男女がともに輝く社会をめざして～

日野町男女共同参画フォーラムを開催しました

男女共同参画について学び、考える機会として、11月29日(日)に日野公民館で、フォーラムを開催しました。
日野町男女共同参画行動計画の改定に携わっていただいた講師の若杉貞子さんから、これまでの取り組みを踏まえ、これからのように進めていけばいいか、日常生活での身近な話題を交えながら講演をいただきました。
講演に引き続き、地域で活動されている皆さんに登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。

記念講演 『地域におけるあなたとわたし』

佛教大学・京都女子大学教員 若杉 貞子 さん



に役割を固定することがよくないのであり、どうすれば肩の荷を少し降ろせるのか、お互い考えてみてはいかがでしょうか。

▼笑顔を持っているのは人間だけです。心から笑顔でいることができるパートナーがいるかどうかが重要であり、そういう意味で男女共同参画は男性にも女性にも意味のある意識改革であってほしいのです。

パネルディスカッション

『地域における男女共同』

～現在・過去・未来～

コーディネーター 若杉貞子さん
パネラー

第5期日野町男女共同参画懇話会

会長 矢島孝男さん

西大路地区男女共同参画を進める会

代表 岡 成美さん

日野町人権啓発推進連絡協議会

会長 谷 嘉雄さん

矢島さんは、「現在、地域の役員をしています。地域の中で女性が参画できるような仕組みづくりをしなければならぬ」との思いで、取り組んでいます。また、家庭でも懇話会で勉強したことに取り組んでいければと思います」と、発言されました。

岡さんは、「女の子だから赤色やないとあかん」という子どもの言葉に危機感を感じ、家庭だけではいけないと思いました。地域で男女共同参画の推進に取り組んでいます。最初は、講演会に人が集まりませんでした。継続が大切と思い、地域の理解を得ながら男の料理教室やアンケート調査などに取り組んでいます。真正面からでなく、さりげな



く、しっかりと伝えるようにしています」と、発言されました。

谷さんは、「私たちの職場・地域・家庭では、差別や偏見などを傷つけるような話も聞きます。生活が豊かになった反面、心が貧しくなりました。人権活動の一步は家庭から。男女平等で、男が主、女は従」という誤った考えを無くし、ともに助け合ひましよう」と、人権の視点から発言されました。

若杉さんからは、まとめとして「①家事については、自分のこととして、できることを、できるだけしましう。②子どもや孫に、身の回りのことが何でも一人でできるようにしてあげましよう」と、家庭から取り組んでいくことの大切さをお話いただきました。また、「時間はかかりますが、数人の百歩よりも、すべての人の一歩が大切」とのメッセージがありました。

今回のフォーラムを機に、今後も男女がともに輝く社会の実現をめざし、皆さんとともに、一歩ずつ進んでいきたいと考えています。

◆問い合わせ先

企画振興課 企画人権担当

☎ 6552

有線 ⑤ 89963